

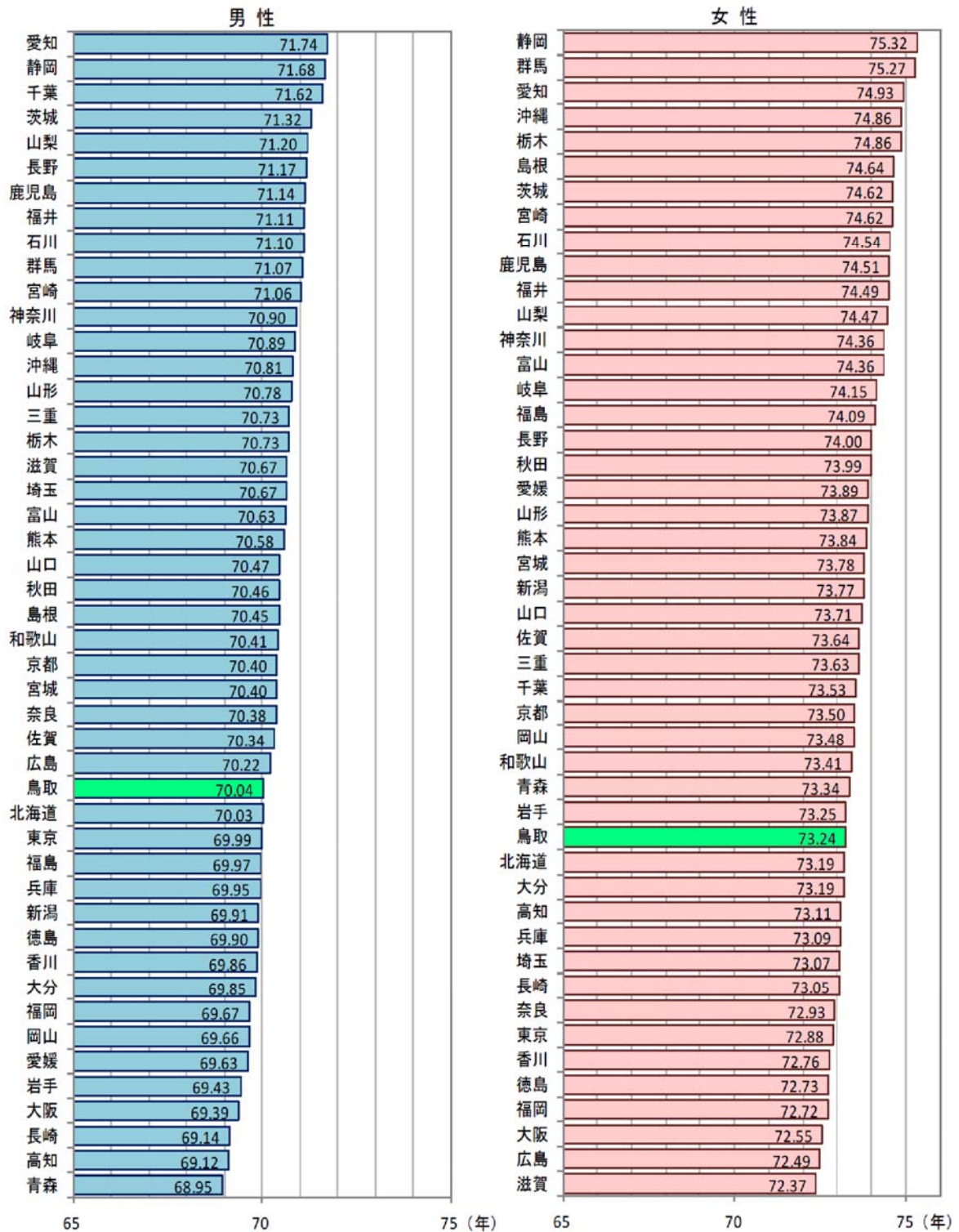
資料編

- ① 県民の健康寿命と健康状態
- ② 県民の生活習慣の現状
- ③ 県民の生活習慣病の現状
- ④ 本県の特定健診の受診状況
- ⑤ 本県の職域の健康状況
- ⑥ 健康づくり文化創造プラン（第二次）の参酌標準
- ⑦ 健康日本21（第2次）
- ⑧ 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議設置要綱
- ⑨ 鳥取県健康づくり文化創造プラン（第二次）策定の経過
- ⑩ 次期健康づくり文化創造プラン策定専門会議専門委員名簿

1 県民の健康寿命と健康状態

(1) 健康寿命（都道府県別の日常生活に制限のない期間の平均（平成22年））

鳥取県民の健康寿命は、男性で70.04歳（全国で31位）、女性で73.24歳（全国で33位）となっています。なお、同年の鳥取県民の平均寿命は、男性で79.01歳、女性で86.08歳であり、その差は、それぞれ、8.97歳、12.84歳の差があります。



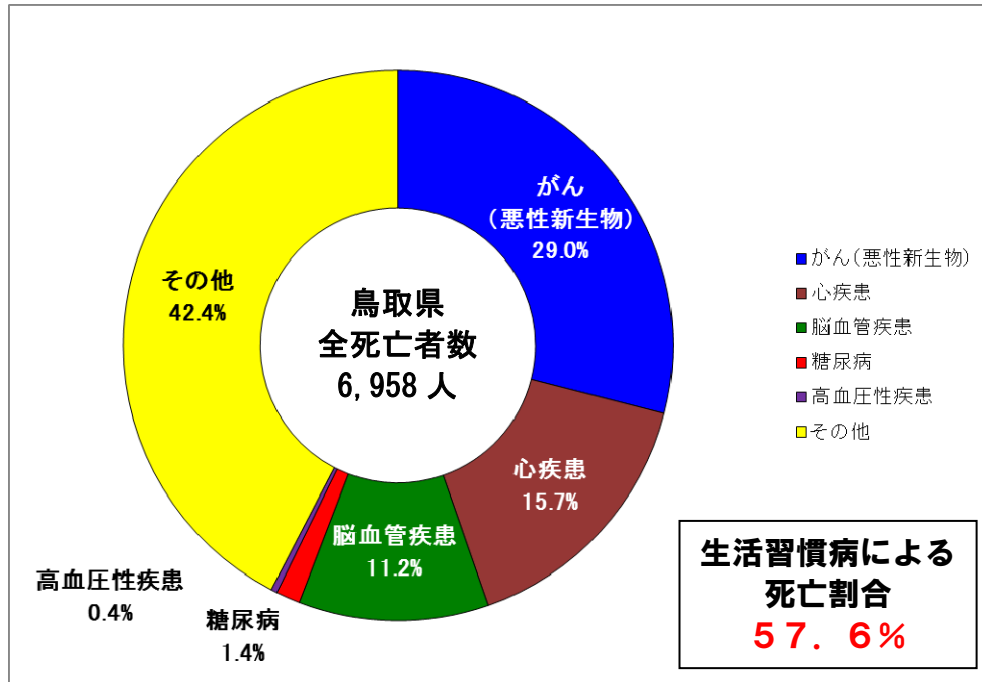
(出典：厚生労働科学研究費補助金

「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

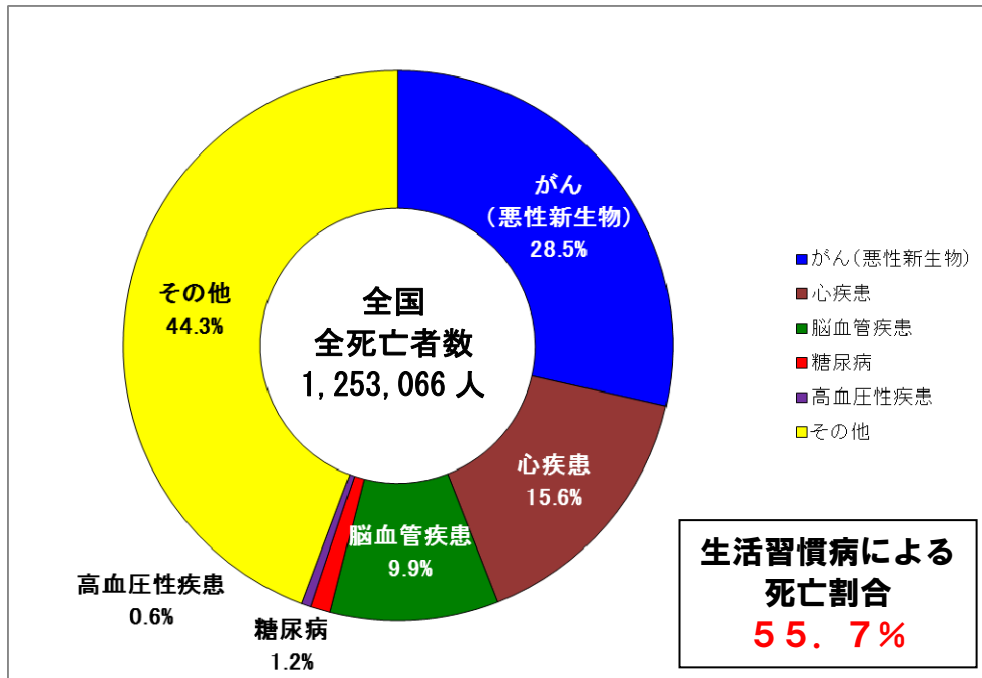
(2) 生活習慣病による死因別割合

鳥取県では、全国と同様に、生活習慣病（がん（悪性新生物）、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患）による死亡が約6割を占めていますが、その割合、死亡率とも、高血圧性疾患を除き、全国と比べ若干高い状況となっています。

ア 本県の生活習慣病による死因別割合（平成23年）



イ 全国の生活習慣病による死因別割合（平成23年）



ウ 鳥取県と全国の生活習慣病による死亡率の比較（平成23年）

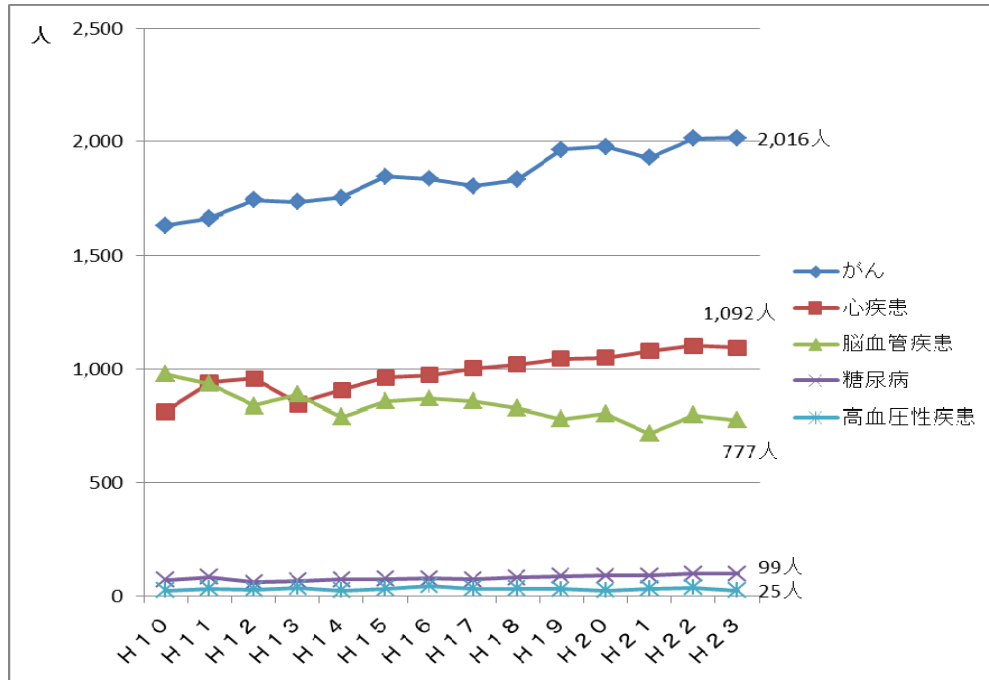
区分	がん(悪性新生物)	心疾患	脳血管疾患	糖尿病	高血圧性疾患
鳥取県順位(全国比較)	7位	14位	11位	3位	40位
死亡率(人口10万対)					
鳥取県	346.4	187.6	133.5	17.0	4.3
全国	283.2	154.5	98.2	11.6	5.6

(出典：ア～ウとも厚生労働省「人口動態統計」)

(3) 本県の生活習慣病による死亡者の推移

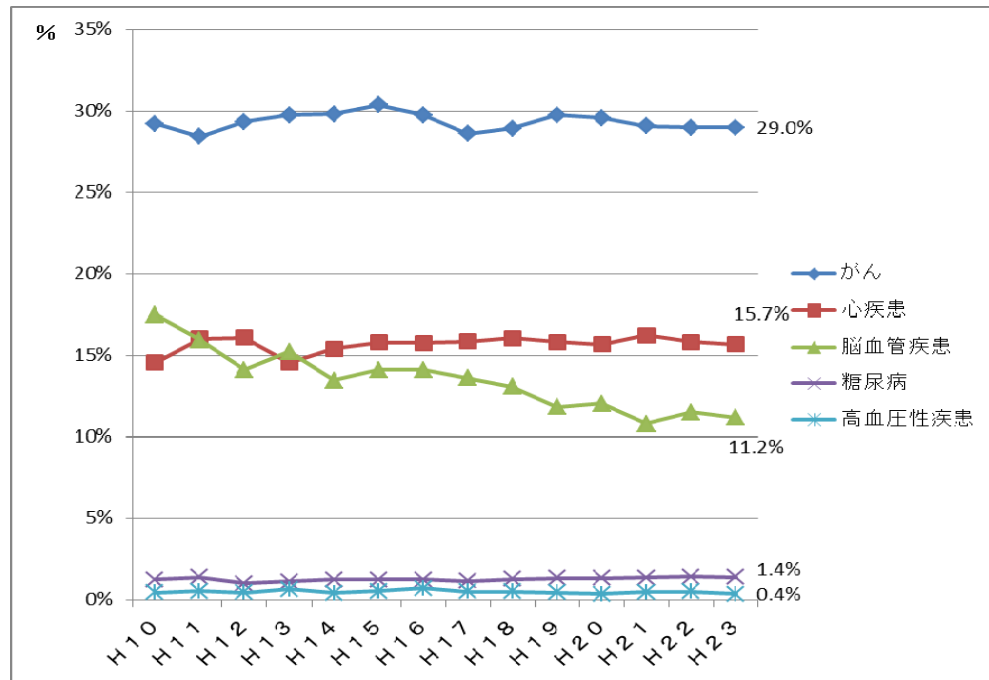
高齢化による死亡者数の増加に伴い、生活習慣病による死亡者数も増加傾向にあります。しかしながら、死因別割合の推移で見ると、脳血管疾患による死亡割合が減少傾向にあり、その他については、ほぼ横ばいの状況となっています。

ア 本県の生活習慣病による死亡者数の推移



(出典：厚生労働省「人口動態統計」)

イ 本県の生活習慣病の死因別割合の推移

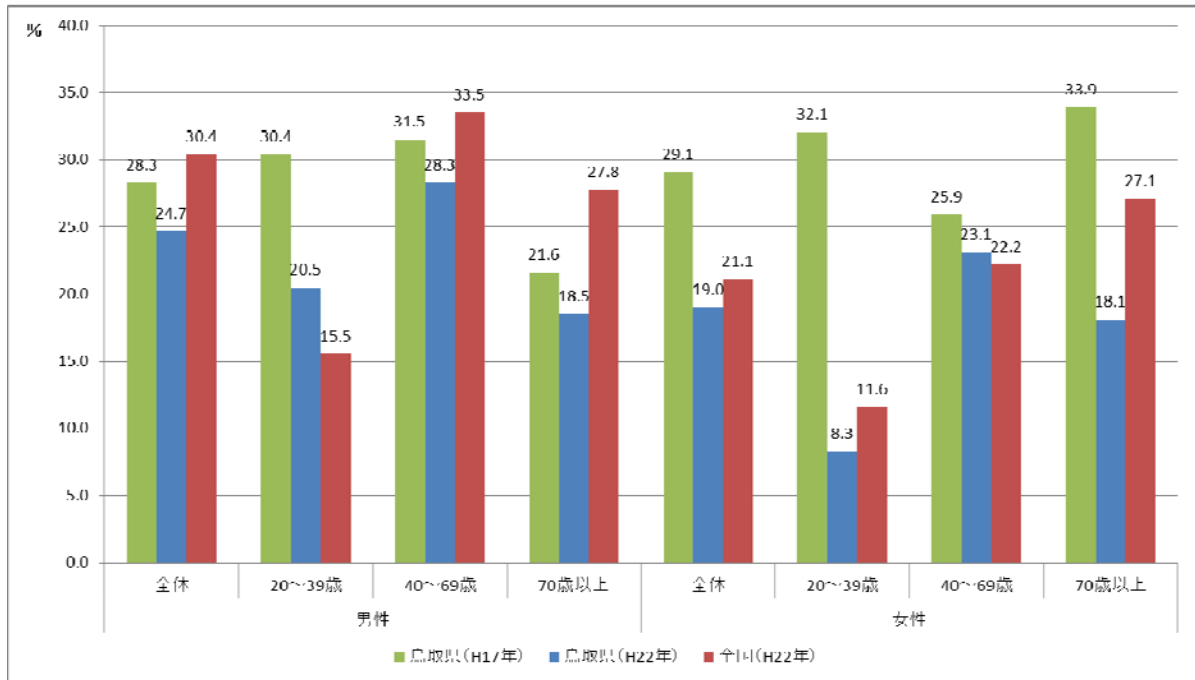


(出典：厚生労働省「人口動態統計」)

(4) 肥満及びメタボリックシンドロームの状況

ア 県内の肥満者（BMI25以上）の割合（20歳以上）

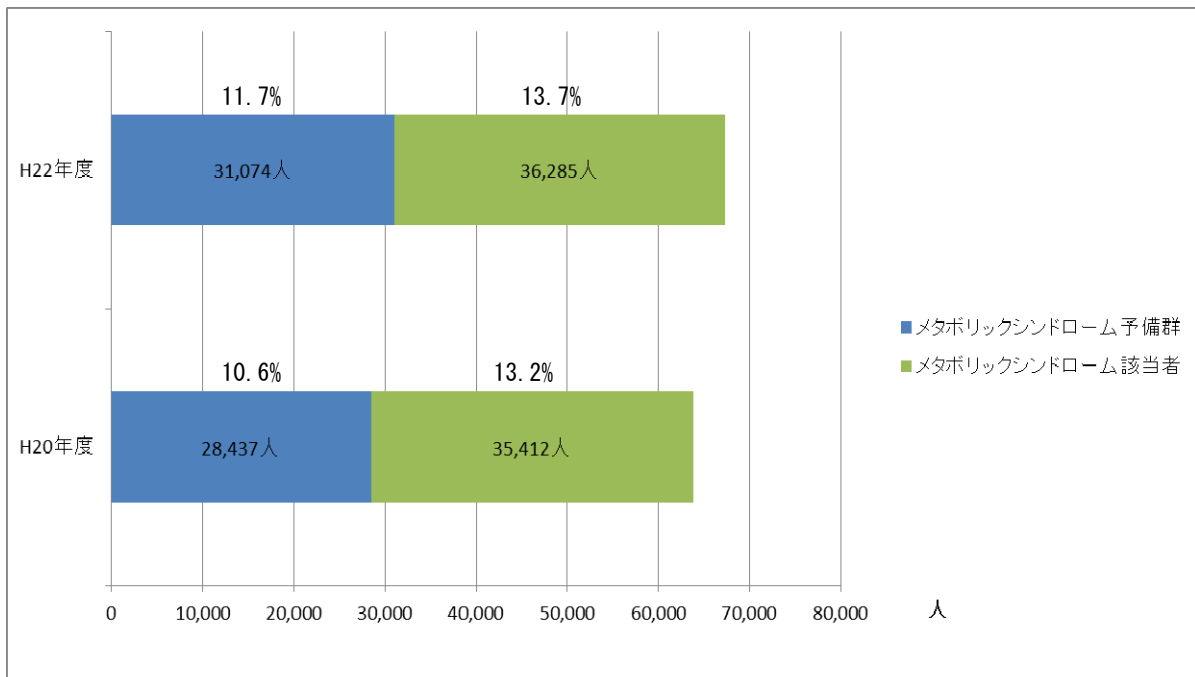
県内の肥満者（BMI25以上）の割合は、平成17年の調査に比べて減少しており、ほとんどの年代で全国と比較しても低い割合となっています。



(出典：「県民健康栄養調査」及び「平成22年国民健康・栄養調査」)

イ 県内のメタボリックシンドロームの予備群及び該当者の推移

県内の特定健診受診者の情報から、メタボリックシンドロームの予備群及び該当者の数を推定すると合わせて67,359人、その割合は25.4%となり、特定健診が始まった平成20年度の数値から増加しています。



(出典：特定健診・特定保健指導実施状況（国への法定報告）)